

きょうちくとう

夾竹桃



Zikei Hospital PR Magazine
"OLEANDER"



2022年 新年のご挨拶

『成年後見制度』をご存じですか？

岡山県認知症疾患医療センター教育講座

「幸福な認知症になるには」

「～認知症と診断されたら～ 看護師の立場から」

『BCP 訓練』を行いました

ZIKEI NEWS ● コロナ禍での広報活動

シリーズ【薬の剤形(カタチ)について】

第1回『錠剤・カプセル剤』



2022年

新年のご挨拶



院長 武田 俊彦

絆(きずな)支援

新型コロナウイルスによる自粛生活も2年になり、多くの集いの機会が失われてきました。ワクチンや人々の自覚的行動で感染状況が改善してきましたが、コロナ以前の状況に戻るにはまだ時間がかかると思われます。コロナ禍で多くの大学が大人数での授業をとりやめ、パソコンやスマホで自宅と大学を繋いだ遠隔授業に切り替えました。せっかく大学に入学したのに、1日も授業やサークル活動に参加できない大学生が全国でたくさん生まれました。特に気の毒だったのは、地方から単身で都会にきた新入学の大学生達で、大学での同級生や先輩との出会いの機会が得られずに孤立無援の状況になってしまいました。彼らは、対面での授業が受けられないだけでなく、人間関係を築けないまま孤独な生活を強いられることになったのです。その結果、多くの大学生が都会での生活を諦め地元へ引き揚げて行きました。同じような問題は、大災害の時に建設される仮設住宅でも起きてきました。住みなれた故郷から仮設住宅に移り住んだご老人の中には、もともとあった交友関係を被災地に残して、単身で生活をせざるを得ない人も多かったのです。そのような状況は、引きこもりやうつ病、孤独死といったところの問題の発生の土壌になりました。

生活するということとは、衣食住が揃うだけではなく、安心して付き合える、気の置けない人間関係のネットワーク（絆・きずな）に身を置くことでもあります。私たちは日頃意識していませんが、家族、友人、サークル、同僚、仲間、支援者などいろいろ

な人間関係のネットワークを築き、それらに支えられながら生きています。コロナ禍での都会の大学生の孤独や、仮設住宅でのご老人の引きこもりの問題は、このようなネットワークの喪失が大いに関係しています。さらに、良質なネットワークを築くことは、認知症や慢性精神病や依存症、がんのような重度身体疾患など多くの病で、心を癒し、心の向上を促し、病自体の予後も改善させることが近年の研究からわかってきています。

慈圭病院もこのようなネットワーク作りに努力して参りました。病になることによって、傷つき、失われるネットワークもあります。それらの修復をお手伝いすることも重要です。また、主治医やスタッフ自身が、そのようなネットワークの一員として役割を果たさなければなりません。デイケア、小規模作業所、グループホームや各種の入所型施設には、その中にネットワークの形成を促す効果があります。さらに、外に出るのが苦手な当事者の方々には、私たちが積極的に現場に出向くタイプの生活・医療支援型の訪問サービスも用意しています。私たち精神科医療の役割は、私たちがまずネットワークの一員になる、そして当事者の皆さまが望むネットワークへの適応を支援する、あるいは適したネットワークを探し出す、必要ならネットワークを創造することだと考えています。これが絆（きずな）支援です。今後も、このような絆支援を充実させていく必要があると考えています。

本年も最良の精神科医療が提供できますように、慈圭病院の全ての職員が精励努力してまいります。

こんなとき、どうしますか？

両親が亡くなった後、
障害を持つ子どもの
将来が心配。

子どものために財産を残す方法や、
施設入所の手続きなど
どうしたらいいの？

認知症の父の
不動産を売却して
入院費にあてたい。

老人施設にいる
母の年金を
持ち出してしまう
兄に困っている。

高額な健康器具など、
使わないのに
頼まれると
つい買ってしまう。

成年後見制度 をご存じですか？

たとえば上記のように**判断能力が不十分**なために、財産上の不利益を受けたり、人としての尊厳を損なわれたりしないように、**法律面や生活面でお手伝い**できるしくみが「成年後見制度」なのです。

●どのように利用するの？

任意後見制度

今は大丈夫だけど、将来自分で判断できなくなったときが心配。だから今のうちから代わりに「判断してもらう人や内容」を決めておきたいとき。



判断能力が十分あるとき

【任意後見人】

この場合の「判断してもらう人」を「任意後見人」といい、あらかじめ決めておいたお金の管理、不動産の売買や賃貸借契約、遺産分割などや、介護・施設入所・医療契約などについて、将来自分で判断できなくなったときに代行しておこないます。

法定後見制度

すでに判断能力に自信が無くなっていて、自分の代わりに「判断してもらう人」が必要になっているとき。この場合の「判断してもらう人」にはご本人の判断能力の程度に応じて「補助人」・「保佐人」・「後見人」に分かれます。



判断能力に
少し衰えがあるとき

【補助人】

あらかじめ決めておいた生活・療養看護・財産など特定の法律行為を代行したり、金銭の貸借・不動産売買や賃貸借・訴訟行為・贈与・相続・新築・大修繕などの重要な法律行為について、同意したり取消したりします。



判断能力に
かなり衰えがあるとき

【保佐人】

左記にある特定の法律行為や重要な法律行為に同意したり、取消したりします。



判断能力が
欠けているとき

【後見人】

日常生活についての行動以外、すべての法律行為を代行したり、必要に応じて取消したりします。

●だれが申し立てできるの？

ご本人、配偶者、4親等内のご親族、検察官、身寄りのない方には市町村長などが申し立てすることができます。

●手続きはどうしたらいいの？

お近くの家庭裁判所で申し立て手続きをおこないます。司法書士や弁護士に手続きを依頼する場合は、報酬を支払う必要があります。詳しくは、『生活福祉支援課』へお問い合わせください。

まずはお電話でご相談ください。

問い合わせ先

TEL 086-262-1191 (代表)

月～金 8:30～17:30 (祝日・年末年始を除く)



幸福な認知症になるには

副院長 石津 秀樹

認知症は不幸だと思いますか？ 認知症にはなりたくないの、認知症を予防する薬やサプリメントを求める人がいます。体が老化するように、歳をとれば脳も老化が進むのは当たり前です。「認知症にならない方法を教えます」という人がいたら、夢をみているのかと思ってしまいます。怪しい言葉には気をつけましょう。

政府の認知症対策のスローガン「**予防と共生**」は、「予防にも頑張っているんだけどもまだうまくいかないの、認知症と仲良くしようね」という意味かと思います。寿命が伸びた現代の私たちは認知症を嫌うのではなく、仲良くすることがこれまでになく求められているのです。

そこでまず、**認知症は不幸なんだと勘違いせずに、幸せな認知症があることに気づいてください。**認知症の人に対して尊厳を持って接することのできる人は、認知症は不幸だと感じません。自分が認知症になっても尊厳をもって接してもらえると感じるからです。**尊厳を大切にすると、その人の体面を貶めず、名誉や自尊心を傷つけないということです。**認知症になってもたくさんの支援者に囲まれてありがたい人生だと感じる人は不幸ではありません。

認知症にもいろいろありますが、半分以上がアルツハイマー型認知症になります。昔のことは覚えていますが、海馬の記憶装置の働きが悪くなるため今のことはすぐに忘れます。それでも、美味しいご飯は食べられるし、何かができないので不幸だとも感じません。やりたいことを見守ってくれるので幸せです。

ところが、「何度も同じことばかりいうね」「何回言ったらわかるの」と家族に言われると、何か悪いことをしたのだろうか、なんでみんなは怒っているのだろうと理解に苦しみます。よくあることですが、そんな時、「忘れることは当たり前なので、開き直っていいのですよ」と助け舟を出すことにしています。認知症が不幸なのではなく、不幸だと思っている家族が不幸にしているだけかもしれません。

人としての尊厳を大切にして、認知症の人が理解できるように接すること、できることをねぎらい支援することが大切です。認知症になっても困らない社会であれば、あなたが認知症になったときでも不幸ではありません。毎日を笑顔で過ごすことができる人は幸せな認知症になれる人なのです。





～認知症と診断されたら～ 看護師の立場から

認知症疾患医療センター室長・看護副部長 秋山千広

もの忘れ外来では毎月初診の方が20～30名おられます。

● なぜ記憶できないの？

記憶に深く関係する脳の部分が海馬（タツノオトシゴの別名で形状が良く似ているのでこう呼びます）です。そこを記憶の壺とします。壺には毎日たくさんの情報が入ります。ですが、認知症になると壺に情報が入りません。壺に付いている手が弱くなるので情報がつかめないのです。つまり短期記憶ができないということです。

ですが若いころの情報（長期記憶）は壺のどこかに残っています。認知症になったとしても、長期記憶を使うことで豊かな生活が送れます。中でも手続き記憶（体に手続きをふんで記憶させたもの）は魔法です。



● 専門医の診断場面では

脳の画像と模型を使って専門医が説明します。私は本人・家族に聞きながら、重要なところを右記の用紙に書き込みます。特に今後の生活環境の調整や身体の病気のコントロール、せん妄予防などを分かりやすく書き、診察後もう一度説明し持ち帰っていただきます。



BPSDへ影響する要因（図・石津秀樹）

● 若年性アルツハイマー型認知症の丹野智文さんから

彼が来岡されたとき、会ってきました。「認知症と診断されて誰に説明していますか？ 何をこれからしたいか聞いていますか？」と言われハツとしました。私は「本人より家族に説明していない？」と自分に問いかけ反省しました。

● 皮膚とこころ

皮膚は第2の脳。触れると自我が動く。皮膚を大切に。高齢になると傷つきやすくなり、細菌が体内に侵入しやすくなります。夜、19時～23時は傷つきやすい時間帯。お風呂でゴシゴシしすぎないほうが良いそうです。（皮膚感覚と人間のこころ／傳田光洋）

● 忘れてもいいんよ…

医師がいつも言います。忘れてもいいんよ。ご家族が覚えていますから、大丈夫。安心して良いことを何度も伝えます。

『BCP訓練』

Business Continuity Plan

を行いました

慈圭病院では、令和3年11月18日（木）の計画停電と同時刻に、台風を想定した『BCP訓練』を行いました。BCPとは“Business Continuity Plan”の頭文字を取った略語のことで、日本語では“事業継続計画”と呼ばれます。自然災害や大事故が生じた際に、被害を最小限に抑えつつ、医療提供を素早く再開させるなど、損害の発生を最小限にとどめ事業の継続や復旧を図るための計画です。



**台風による停電が発生!!
自家発電が作動しました!!**



1
東館1階に災害対策本部を設置しました



2
評価する職員を配置し、訓練シナリオが開始されました



3
各部署、病棟から状況報告の連絡がはいります



4
安否確認システムで情報伝達を行います



5
節電要請の必要性を検討します



6
統括本部長（武田院長）より指示が飛びます



7
本部からの指示で医師が病棟へ向かいます



8
病棟内でも訓練が行われました



9
無事終了しました



10
終了後の反省会で訓練を振り返りました



統括本部長
（武田院長）

慈圭病院ではBCPを策定しています。停電や地震、津波がおきても被害を最小限にして、病院の使命が果たせるように、これからもプランの改良と訓練を重ねていきます。



訓練評価
メンバー

病棟や各部署でアクションカードをもとに訓練を実施しました。災害時には初動が大切です。訓練を繰り返し行うことで有事の際にはこの経験を活かして行動してほしいと思います。

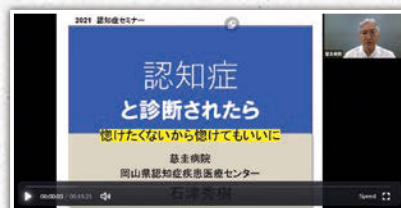


コロナ禍での広報活動

新型コロナウイルス感染症の感染防止のため、岡山県認知症疾患医療センターの教育講座を、オンラインでの配信に形を変えて開催いたしました。9月21日～11月30日までの配信の結果、約850回もご視聴いただくことができました。ネット環境がある方だけの視聴、直接顔を合わせたコミュニケーションができないなど課題はありますが、いつでも、どこでも、何回でも視聴できるといったオンラインならではのメリットもあります。状況に応じて、臨機応変な広報活動に努めてまいります。

今後ともよろしくお願いいたします。

こころの健康啓発委員会



シリーズ【薬の剤形(カタチ)について】

第1回 『錠剤・カプセル剤』



精神科で使用する薬には、

様々な剤形(カタチ)が揃っています。それは、長い期間飲み続けることが多いので、忘れずに、

続けやすいものを選ぶことが大切だからです。それぞれの剤形

について4回にわたって、特徴をお話していきます。病状やライフスタイルに合った薬を選ぶ

参考にしてください。

錠剤



多くの人が飲み慣れている一般的な薬です。長期保存がしやすいため、とても使いやすい形です。錠剤には多くの種類があり、主なものをあげます。

●裸錠 最も基本的な錠剤です。表面に何の加工もされていないものです。

●糖衣錠 錠剤の外側を甘い素材でコーティングしたものです。

●フィルムコート錠 錠剤の周りを水溶性の膜で覆ったものです。酸化・変質を防ぐ効果があります。

●腸溶錠 胃でなく腸で溶けるように作られた錠剤です。胃で溶けてしまうと胃に障害を起す薬、胃酸で効果が弱くなる薬などに用います。

●徐放錠 薬がゆっくり溶けるように作られた錠剤です。効果が長く続き飲む回数が少なくてすむ利点があります。

●口腔内崩壊錠 唾液やほんの少しの水分で溶けるように作られた薬です。飲み込む力が弱くなっている方にも服用できるように作られています。

●舌下錠 口の粘膜から成分を吸収させる錠剤です。嚥下(のど)に飲み込んだりせずに舌の下に置いて溶かします。

●カプセル剤 有効成分を含んだ粉末や液状のものをカプセルに入れた薬です。カプセルで中に入れた薬を覆うため、臭いや味が気になりません。

カプセル剤



一般的にはコップ1杯程度の水とともに飲むようにしましょう。水なしで飲んだり、量が少なすぎたりすると、喉や食道に錠剤がひっかかってしまい炎症を起すことがあるからです。カプセル剤は特に食道や胃の粘膜にくっつきやすく、潰瘍を起すこともあります。また、基本的には嚥下(のど)に砕いたりして飲むと効果がなくなる薬もあるので、正しい飲み方をしましょう。

一般的な錠剤・カプセル剤の正しい服薬方法

一般的にはコップ1杯程度の水とともに飲むようにしましょう。水なしで飲んだり、量が少なすぎたりすると、喉や食道に錠剤がひっかかってしまい炎症を起すことがあるからです。カプセル剤は特に食道や胃の粘膜にくっつきやすく、潰瘍を起すこともあります。また、基本的には嚥下(のど)に砕いたりして飲むと効果がなくなる薬もあるので、正しい飲み方をしましょう。



外来担当医師

完全予約制

令和4年1月1日現在

診療時間

9:00～15:00

初診／受付時間

8:30～11:00

専門外来

- アルコール
- もの忘れ
- 青年期
- 禁煙
- ペインクリニック(疼痛)
- セカンドオピニオン

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日
再診	堀井 茂男 岡田 志保 城戸 高志	石津 秀樹 難波 多鶴子 武田 俊彦 池田 智香子 齊藤 永実 青木 省三	堀井 茂男 山内 裕子 吉村 優作	武田 俊彦 石津 秀樹 安田 華枝	岡 沢郎 鷲田 健二 蜂谷 知彦 山下 理英子	定期の診察はありません
専門外来	午前 (アルコール初診) 堀井 茂男 午後 (ペインクリニック) 石津 友子	午前 (アルコール初診) 山下 理英子 午後 (アルコール再診) 堀井 茂男 (禁煙) 山下 理英子	(もの忘れ) 石津 秀樹	(青年期) 担当医	(アルコール再診) 堀井 茂男 吉村 優作 山下 理英子	

慈主病院の理念

わが子でも安心して任すことのできる 精神科病院

創立以来、職員ひとりひとりが、患者さまとご家族の信頼にたる病院であるかを問い続けています。

五大基本原則

- 1 慈愛の医療**
ひとりひとりの患者さまに、慈愛と尊敬のこころをもって快適な医療を提供します。
- 2 最先端の精神科医療**
急性期医療からリハビリテーション、地域医療まで、良質で、最先端の精神科医療を実践します。
- 3 最高水準の医療倫理**
ヒューマニズムに根ざした至高の医療倫理を保ち、安全で安心、納得のいく医療を実行します。
- 4 積極的な地域貢献**
地域との連携を密接にし、精神科基幹病院としての役割をはたすとともに、こころの病の理解のための教育、啓発活動を積極的に行います。
- 5 チャレンジ精神**
私たち病院スタッフは、常にチャレンジ精神を忘れず、和の力を結集し、さらなる挑戦、実践を行います。

病院へのアクセス

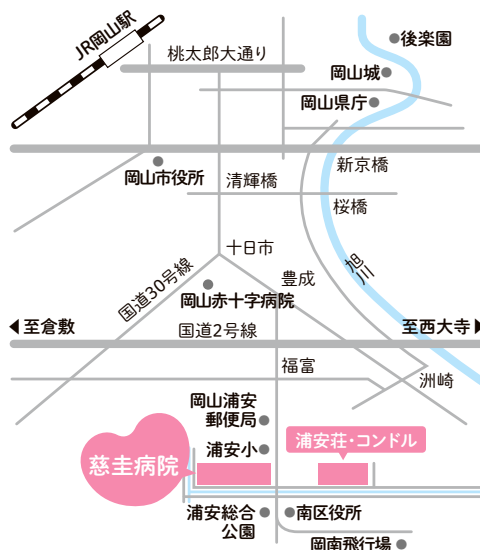
JR岡山駅より南へ約8km(浦安総合公園近く)

車で

広島方面から……国道2号線「青江」で側道へ、「豊成」交差点を南へ約10分
大阪方面から……国道2号線「福富」で側道へ、「豊成」交差点を南へ約10分

バスで

岡電バス……JR岡山駅前より「浦安体育館・岡南飛行場行」に乗車、「慈主病院」下車(岡山駅より約30分)



お問い合わせ

(086)262-1191 受付時間 8:30～17:30

24時間

精神科救急対応

時間外・休日の急患対応いたします

ホームページもご覧ください <https://www.zikei.or.jp/>



ZIKEI